

[7] Oguri, Y.: *A Metropolitan Residential Relocation Model for the Evaluation of Housing Policies of the Tokyo Region*. Unpublished Ph. D. Dissertation, Department of City and Regional Planning, University of Pennsylvania, 1978.

[8] 小栗幸夫: 大都市圏住宅住み替えモデルにおける住宅・居住地探索ルーチンの設計. 都市計画, 別冊第14号(1979), 刊行予定.

[9] 小栗幸夫, 他: 東京大都市圏居住世帯の潜在的住み替え需要と住宅選好パターンの調査および解析. 都市計画, 別冊, 第13号(1978), 85-90.

注

1) この研究はペンシルヴァニア大学提出学位論文研究(Oguri [7], 指導教官 Prof. Britton Harris) としてすすめられたものである. 東京工業大学における研究の期間指導にあられた社会工学科梶秀樹助教授, 原科幸彦氏(現国立公害研究所), 和泉潤助手, 研究助

成を与えられた鹿島学術振興財団, データ収集等に協力された各位に感謝の意を表する.

2) ニュー・アーバン・エコノミックスの名称は Mills and Mackinnon [6] によってつけられた. その特徴についても同文献参照.

3) グラビティ法則を援用した大都市圏モデルは Hansen [3], Lowry [5] などによってプロトタイプが開発され, 以後多くのモデルの開発が試みられた. Goldner [2] 参照.

4) モンテカルロ法による居住行動シミュレーションモデルは名古屋大都市圏を対象とした熊田禎宣他のモデル(熊田他[4]), 南関東を対象とした伊藤滋他のモデル(大都市交通分析調査委員会[1])などがあり本研究はこれらの業績に負うところが大きい. これらのモデルとの関連については小栗[8]参照.

5) 住み替えモデルの住宅・居住地探索ルーチンについては小栗[8]参照.

6) 大都市圏住宅住み替え調査については小栗他[8]参照.

● グラフを楽しむ ●

max-non H-path

前回(11月号)の答 $K_{8,3}$ の辺の数は9なので, たての位置はこれで決まる. 辺の数が9のグラフは20個あるが, 図中上下に各1本線で結ばれている点は1コであり, これが $K_{8,3}$ に対応する. すなわち $K_{8,3}$ に任意の辺を加えてできるグラフはすべて同型なので上に線は1本だけ. 同様に任意の辺を除いてみれば, 下にも線は1本しかでない.

さて, 前回と同じ図を用いて, ある性質をもつグラフ(たとえばハミルトン路をもつグラフ)をいもづる式に引き出してみよう. 同様に性質をもたないグラフも明らかとなる. 極大(これ以上, 辺を加えると性質がこわれる)なグラフはどんな顔をもつのだろうか.

(寺野隆雄・坂内広蔵)

